

おおいたくらしサポート

暮らしにまつわる相談を受けつけます

あなたの周りに、失業・虐待・けがや病気が原因で生活に困っている人はいませんか？ そんな人のために「おおいたくらしサポート」があります。



生活保護や介護保険など「制度」が利用できないか検討します。

支援の流れ

発見
連絡

SOS を見つける

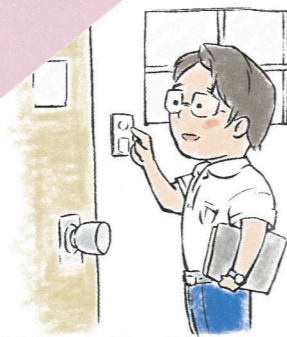
SOSを発見します。困っていることがあれば連絡してください。



訪問
相談

状況を 把握する

お住まいを訪問し、見て聴いて、状況を把握します。



方法を 考える

制度
検討

制度へ
つなぐ

支援や 問題解決へ

「制度」につなぎます。「制度」が使えないときは、援助の方法を検討していっしょに問題解決に努めます。

経済的
支援

今日明日の食べる物がないなど、緊急を要する場合は、食材費や光熱水費などの経済的援助(現物給付)を行います。



見守り

生活の自立を目標に継続的に見守ります。

頼みの綱が ここにあります。

「おおいたくらしサポート」事業は、失業・虐待・DV・けがや病気などが原因で生活に困っている人たちに寄り添って、訪問・相談を通じて必要な制度につなぐ活動を行っています。緊急を要する場合は、食材の提供などの現物支給による生活支援も行っています。

SOS



相談 事例

平成16年より取り組んでいる大阪府の事例

10日間何も食べず…

70代男性ひとり暮らし。貯蓄もほとんどなく、持病で外出困難。近隣住民が異変に気づき、発見したときには、10日間何も食べず、体重は30キログラム。まず弁当と、当面の食事のための食材を購入し、生活保護及び介護保険サービス利用申請に同行した。

夫からのDVから逃れて…

30代女性と子どもの母子世帯。夫からのDVから逃れるため友人宅へ避難した後、2人暮らし。アパートの契約代と生活費の支払いで所持金が底をつく。生活保護を申請したが、支給日までの家賃食材費を支援。その後、就職が決まり、生活保護も終了。

収入はひと月5万円の年金のみ

80代女性ひとり暮らし。収入はひと月5万円の年金のみ。足が悪く、買い物が困難。仕送りを頼っていた弟も亡くなり食事はカップ麺のみ。生活保護申請が1人ではできず、諦めていた。担当相談員が同行して手続きを行い、生活保護を受給決定。その後安定した生活を送っている。

ゴミ屋敷と多重債務

60代男性ひとり暮らし。家にかなりのゴミがたまっている上に、多重債務で生活困窮状態。担当相談員が法テラスへつなぎ、債務整理のための支援を行った。また、近隣住民に協力を呼びかけ、家のゴミ出し支援を実施した。

10代青年、生活困窮状態

10代青年男性。家族と別れて生活困窮状態。職業訓練や若者支援の専門機関に同行して相談を行った。また、こまめに電話や面談をすることで励まし、就労のサポートを行った結果、就職でき自立することができた。

軽度の知的障害…家賃未払い

50代男性兄弟と、80代の母親の3人暮らし。兄弟は失業中で軽度の知的障害もあり。収入は母親の年金のみ。食費を節約するが、家賃未払いにより退去期限間近。担当相談員が同行し、家賃ひと月分を支払い、退去を免れるとともに、就労支援を行った。

